

感震リレー KRB・KNR

地震を感知し、自動的に主幹漏電ブレーカ（感度電流30mA以下）を遮断します。



KRB-1

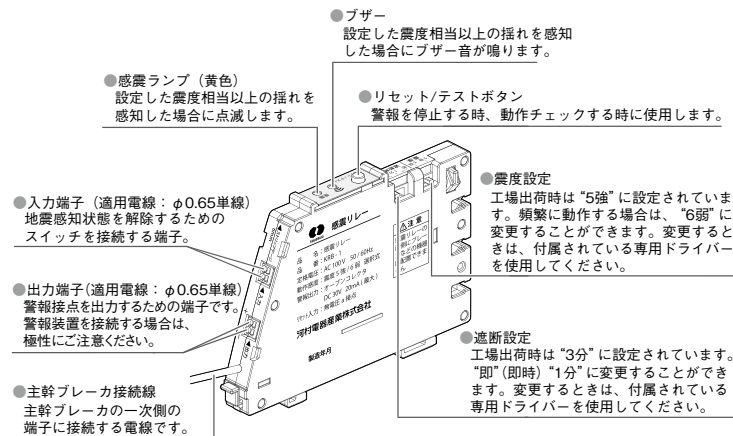


KNR-1N

適用ホーム分電盤	納期区分	品番	標準価格(円)	外形寸法(mm) タテ×ヨコ×フカサ
enステーション/Ezライン	②	KRB-1	16,100	95×10×65
スマートホーム分電盤	②	KNR-1N	16,600	70×20×50

(商品コード27)

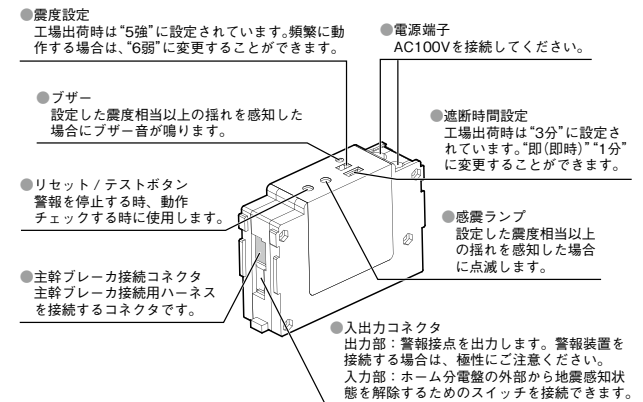
■ 各部の名称とはたらき(KRB-1)



■ 特長

- 地震を感知すると、ランプとブザーにより警報を発します。(動作感度：震度5強/6弱の選択式)
- 警報を発生して遮断時間経過後、主幹漏電ブレーカを遮断します。(遮断時間：即時/1分/3分の選択式)
- 警報は断続音ですが、最後の30秒間は連続音となり、避難を急ぐことを促します。
- 警報発令中は、遮断時間以内にリセットスイッチを押すことにより、警報と主幹漏電ブレーカの遮断を停止することができます。(外部スイッチによってもリセットできます。)
- 警報発令中に停電が発生した場合、復電時に主幹漏電ブレーカを即時遮断します。
- 停電後8秒以内に動作感度の地震を検知した場合、復電直後に主幹漏電ブレーカを遮断します。
- 家屋が倒壊した場合には、主幹漏電ブレーカを即時遮断します。
- 警報は、出力端子より遠隔地に送ることができます。

■ 各部の名称とはたらき(KNR-1N)



■ 仕様

品番	寸法(mm)			電源	動作感度	警報内容	遮断時間	出力端子	入力端子	取付許容角度
	タテ	ヨコ	フカサ							
KRB-1	95	10	65	AC100V	震度5強/震度6弱 (選択式)	・LED(黄)表示 ・ブザー鳴動	即時/1分/3分 (選択式)	外部警報出力 オープンコネクタ DC30V、20mA (最大)	外部リセット入力 無電圧a接点 (微小電流対応形) DC30V、0.1A(最大)	10度以内
KNR-1N	70	20	50	50/60Hz						

■ 樹脂ケース入り感震リレー〈色彩：マンセル6.2Y9.1/0.6(近似)〉

品番	標準価格(円)	感震リレー型式	外形寸法(mm) タテ×ヨコ×フカサ
NFK-1N-EN	21,200	KRB-1	180×120×75
NFK-1N	21,200	KNR-1N	125×90×67

※品番に は新商品です。
※品番に は生産終了品です。



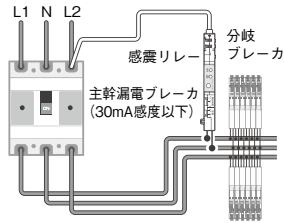
NFK-1N-EN



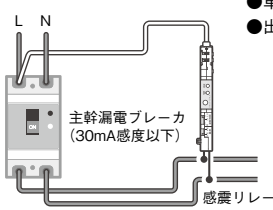
NFK-1N

■ 配線図 (KRB-1)

単相3線式の場合



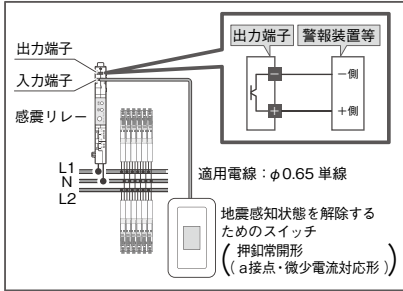
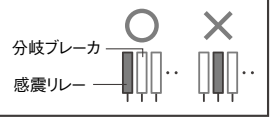
単相2線式(100V)の場合



- 単相3線式で接続する場合は、主幹ブレーカの一次側L2相の端子に主幹ブレーカ接続線を接続してください。
- 単相2線式で接続する場合は、主幹ブレーカの一次側L相の端子にブレーカ接続線を接続してください。
- 出力・入力端子の接続は左下図を参考にして取り付けてください。出力端子の極性に注意してください。

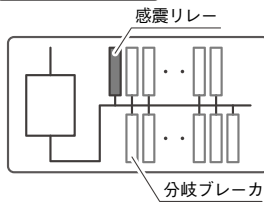
△ 注意

感震リレーの両側にブレーカなどの機器は配置できません。(スパーサーは除く)

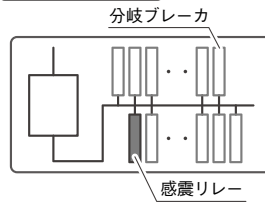


enステーション標準搭載位置 ※別の取付位置を希望される場合はご相談ください。

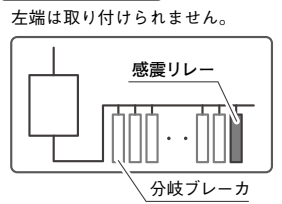
enステーション



Eco Eye



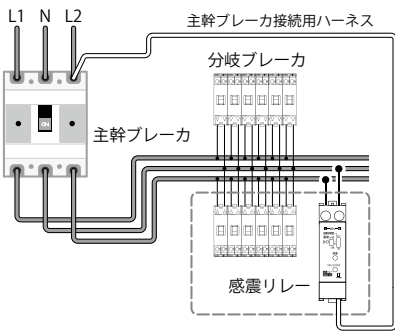
横一列



■ 配線図 (KNR-1N)

単相3線式の場合

縦型ホーム分電盤には使用できません。

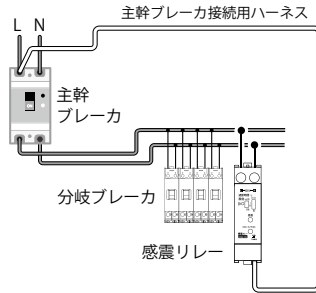


※ 感震リレーの搭載位置：下段専用

単相2線式の場合

単相2線 200V 回路では使用できません。

※ 単相2線式で接続する場合は、主幹ブレーカの一次側L相の端子に感震リレーの主幹ブレーカ接続用ハーネスを接続してください。

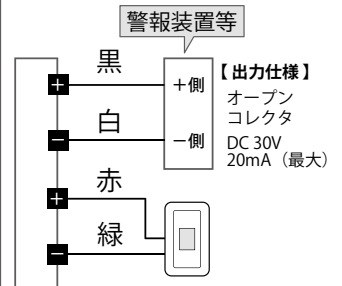


■ 入出力端子の接続 (KNR-1N、NFK-1N 共通)

結線の際は付属のスリーブで延長して結線してください。

(適用電線：AWG24 (0.2mm²) ~ AWG16 (1.25mm²)

また、接続しない線は端末処理をおこなってください。



地震感知状態を解除するためのスイッチ (押釘常開形 (a接点・微小電流対応形))

【出力仕様】
オープンコレクタ
DC 30V
20mA (最大)

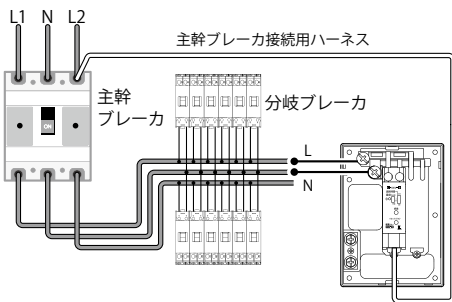
【入力仕様】
無電圧 a 接点
DC30V 0.1A (最大)

■ 配線図 (NFK-1N-EN・NFK-1N) ※下図はNFK-1Nの接続図です。詳細は取扱説明書をご覧ください。

■ 感震リレーの電源 L・N を住宅用分電盤 2次側の L1・N または L2・N (100V) に接続してください。接続には M5 用圧着端子をご使用ください。

■ 施工時は住宅用分電盤の1次側に電圧がかからない状態でおこなってください。

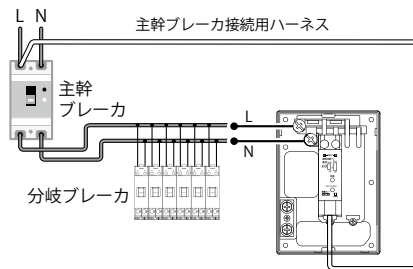
単相3線式の場合



単相2線式の場合

単相2線 200V 回路では使用できません。

※ 単相2線式で接続する場合は、主幹ブレーカの一次側L相の端子に感震リレーの主幹ブレーカ接続用ハーネスを接続してください。



■ 注意事項

- 使用できる配電方式は単相2線100V、単相3線のみです。(単相2線200Vでは使えません。)
- ホーム分電盤の主幹はELBの感度電流が30mA以下である必要があります。
- ホーム分電盤の主幹がJIS互換性形(ソルダレス端子)の場合は使えません。線挿入端子(アップ端子)などの共締めができる必要があります。
- 主幹ブレーカ接続コネクタから主幹1次側に配線する電線は0.35mm² ~ 0.75mm²の長さ3m以内としてください。(NFK-1Nの場合のみ)
- 接続するホーム分電盤には2次側の送り端子が必要です。(NFK-1Nの場合のみ)

※ ホーム分電盤に相込み済みの品種もございます。P.60, 86, 161, 193